

# 誰もが気軽に出かけられる町 ― バリアフリーを目指して ―



本格的な高齢社会の到来に向けて、また、体の不自由な人の自立と社会生活への参加のため、全ての人がより安全・快適に利用できる交通の実現が望まれています。

## 南部町の交通

南部町は高齢化率27.52%（平成19年4月現在）と、他の地域と比べて、急激に高齢化が進んでいます。

同時に、南部町のような過疎地帯では、バスなどの公共交通機関の廃止や減便が多く、移動手段が制限されています。これに伴って、高齢者は移動手段を徒歩や車に頼ることが多くなり、近年は高齢者の歩行中の交通事故と共に、

車の運転中の事故も増えてきています。

子どもから高齢者まで、誰もが気軽に、安心して出かけることができる町を目指して、現在南部町で行われている取り組みを紹介いたします。

## ふれあいバス

平成16年8月から町内を運行しているふれあいバスは、住民の誰もが便利で安全に乗れるように、乗り降りに負担の少ない低床のワンステップバスを導入しています。

また、車いすを利用する人を介助する人が、楽に乗り降りを手伝えるように、乗車口に車いす用のリフトが設置されており、乗車口すぐ前の座席を折りたたむと、車いす1台がすっぽり入る場所ができます。

そして、誰もが使いやすい車両の整備も重要ですが、その車両を

地域に合った形で使っていく事が重要です。運行路線も、路線バスが運行しない地域や集落内にも乗り入れ、住民の生活サイクルに合うように、利用者の方の意見や提案を取り入れられています。

## 福祉タクシー

乗り物のバリアフリー化が進んでいても、すべての人が気軽に外出できるわけではありません。バスを利用する場合でも、家からバス停まで、バス停から目的地まで、長い距離を移動しなければならぬ場合もあります。

さらに、車いすから降りるのが大変な人、一人で一般タクシーを利用するのが難しい人のために、車いすに乗ったまま乗り降りができる福祉タクシーの活躍が期待されています。

福祉タクシーは、歩行に不安のある人や車いすを利用する人の外出や移動時のサポートを目的に、車いすのまま乗降できるスロープ

やリフト装置のついた特殊車両のタクシーをいいます。

平成13年6月の国の規制緩和にもなつて、軽自動車での開業が可能となり、全国でも車両数が増えてきています。

まだ福祉タクシーの存在自体を知らない人も多く、馴染みが薄いものの、高齢化の進行によって需要はさらに高まると考えられます。

しかし、一方で福祉タクシーは一般タクシーのようにいつでも客を乗せることができず、「空車」の時間が長いため、赤字になりがちです。

町内で福祉タクシーを営業している事業者も「経営は自転車操業です。儲からないことは分かっていたので、利益よりも地域の福祉に貢献したいと思っています。」と話されています。

また、介護保険の認定を受けている方で、車の乗降介助が必要な方は、介護保険の乗降介助サービ

スで福祉タクシーを利用できる場合もあります。くわしくは担当のケアマネージャーにご相談ください。

## 気軽に出かけられる町へ

安心して住み続けられる町を作るには、地域で公共交通を支えていかななくてはなりません。従来の採算性を重視した交通整備では、バスすら運行することはできません。

自立した生活をするためには、気軽に届けられる交通手段をもつことが必要です。運転ができなくなった人、運転しない人、高齢者や子ども、体の不自由な人が、安全で自由に移動できる選択肢を持てる交通環境の整備が重要です。

地域の皆さんと共に、行政、事業者が連携して快適な交通を考え、住みやすいまちづくりを目指していきます。



### いつもお世話になっています

三鴨 秀利さん

南部町天萬にお住まいの三鴨秀利さんは、車いすを利用されています。

車いすでのバスを利用についてお話を伺いました。

花回廊やゆうらくに行くのにはふれあいバスを利用しています。町内の外出には、たいていふれあいバスを使っており、運転手さんとも心安くなっています。

運行中、車いすでは踏ん張ることができないので、上野の坂を走

る時など、運転手さんにだいぶ神経を使っていたいています。電動車いすで外出することもありますが、バッテリーが尽きることもあるし、ずり落ちてしまうと助けてもらわなければならなくなりますので、車いすのまま乗れるバスは便利です。米子へ出かける時は路線バスを利用します。

ふれあいバスも路線バスも、運転手さんが親切で利用しやすいです。やはり、乗る時に嫌な顔をされると利用を控えようかと思ってしまうます。平地ならば乗り降りも自分で出来ます。ただ、停車時間が長くなってしましますが、他のお客さんにもご挨拶をすると、たいてい良くしていただけます。

ふれあいバスの運行が始まって、うれしく思います。会見地区から西伯地区への移動ができるし、部落内も回ってもらえてありがたいです。今は、路線バスの便数が減っていて、出かける時は良ければ、帰るのに良い時間のバスがなくて待ち時間が長く、困ることがあります。



### 地域にやさしい福祉タクシー

福祉タクシー日本海

TEL 0120・852414

垂水 英俊さん

ケアタクシーあゆみ

TEL 64・2461

新井 俊一さん

福祉タクシーなんぶ

TEL 64・2430

加藤 正さん

南部町内で福祉タクシーを営業されている3つの業者にお話を伺いました。

現在は通院や通所で利用される方がほとんどですが、歩行に不安のあ

る方の外出や観光などにも、気軽に利用して欲しいと思っています。

運転する時は、当たり前ですが、事故に気をつけています。また、坂道やカーブなど、車いすの固定装置が付いてはいますが、健常者の方を乗せている時のような運転はできないので、振動が大きくならないように神経を分かっています。あとは、乗降時にお客様が転倒などしないように気をつけています。運転中のコミュニケーションにも気をつけ、介護についての相談などにも、資格や経験をもとに、アドバイスをさせていたいています。

何か地域に根ざした、役に立つ仕事ができればと考えて、福祉タクシーを開業しました。福祉タクシーは、これからの高齢化社会に対応した仕事だと考えています。現在は、利用者の6〜7割が町外の方です。もっと地元の方に福祉タクシーを知っていただき、気軽に利用していただければと思っています。3社とも1.5km 500円と同一料金を採用しており、連携して地域のお年寄りや体の不自由な方のためのサービスを提供していきます。